

【課題 9】 議会映像配信について

区民に対してより開かれた区議会とし、議会活動に係る情報発信の拡充を図るための具体的な検討項目の一つとして、議会映像配信の拡充について検討した。

台東区議会におけるユーストリームによる委員会映像配信の実施状況を調査したほか、主に以下の議論を行ったが、今期中に結論を得るに至らなかった。

論点 1 ユーストリーム等の活用

主な意見

(コスト等についての意見)

- ・ いつも費用の関係が一番大きなネックになっているわけであるが、ある程度コストが掛かっても行っていくべきである。現行の配信システムを利用する場合やプラスアルファでユーストリームを活用する場合など、どのようなやり方をしたら、どのくらい費用が掛かるのかも、事務局が調べられる範囲で情報提供をしてほしい。
- ・ ライブ映像の配信のみユーストリームで行い、そのほかにビデオで映像を録画しているのだから、ユーストリームとは別に録画映像の配信をすれば、特にユーストリームについて有料会員になる必要はない。

(広告の挿入についての意見)

- ・ 議会が実施する映像配信なのだから、なるべく広告の挿入は避けたい。
- ・ 広告を閲覧することにより、閲覧者のデータが企業側に流れるものがある。そのようなものを議会映像配信に使うのは不適當であり、現在配信している方法で十分である。
- ・ そうした広告による危険性はSNS全般に言えることで、あらかじめ区民に対してリスクがある旨を伝えておけばいいのではないか。

(画質等についての意見)

- ・ 以前に見た流山市議会の映像配信は、画像も悪く音響も悪かった。

(その他の意見)

- ・ ユーストリーム等の活用が決算特別委員会で提案された意図は、無料で配信できるようになれば、映像配信の対象とする会議を広げられるということだと考えている。問題は、配信の対象とする会議を従来のままとするか広げるかである。ユーストリームを活用している議会の映像配信も、アクセス件数はあまり多くないという話も聞いている。

論点2 現在の配信方法の改善（カメラの解像度・アングル、テロップ）

主な意見

（「複数のアングルが必要である」との意見）

- ・ 会派名を表示する看板を発言者席の横に置くだけでは、委員会の雰囲気が出ない。質問者だけの画面等のアングルにしなければ、映像としておもしろくない。

（「テロップが必要である」との意見）

- ・ 発言者の氏名等を表示するテロップがなければならない。

（「より安価で汎用性の高い機器で十分である」との意見）

- ・ カメラの解像度・アングルの改善の手段としては、現在のカメラの更新・移設ではなく、一般的な汎用性の高いデジタルビデオカメラとパソコンで十分である。本格的な配信設備は高額になってしまい、保守も必要となる。

（その他の意見）

- ・ より安価で汎用性の高い機器での対応等を検討する場合は、事前に実験してみなければならない。
- ・ コスト、各機種機能及び導入までに要する期間についての問題があるので、具体的な事例を調べる必要がある。